

令和3年度 研修報告

例年の研修会は1年に2回、現場見学と討議に併せて講師を招き、講演会を開催して参加者の学習と研鑽に供してきた。

しかし、約2年前から続く新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年度の研修会は対面での開催をあきらめ、Web会議の形式で1回のみ開催となった。

今年度の研修会開催も危ぶまれていたが、9月30日に全ての都道府県において緊急事態宣言が解除されたこともあり、感染症予防対策を行って3密を避けた状態で12月10日（金曜日）に安威川ダムの現場見学会、1月13日（木曜日）にWeb会議の形式で意見交換会を開催した。

1. 開催日および参加者数

開催場所 開催形式	開催日	ダム現場等 外勤者	本支店等 内勤者	常任 幹事	ダム 協会	合計
安威川ダム	12月10日	5	5	8	2	20
Web会議	1月13日	9	10	9	4	32

2. 現場見学会および意見交換会

現場見学会は、計画・設計、施工に特徴のある安威川ダムを見学した。現場では参加者から多数の質問があり、その都度担当者から回答を受けることができた。しかし、3密状態を避けるためにそれ以外の質問は各自で持ち帰り、その後に開催されるWeb形式の意見交換会で改めて質疑回答を行うことにした。

意見交換会ではCMED会で活動をしている3部会、「ダム現場における問題点」部会、「CMED活躍推進」部会、「多目的ダムの建設更新」部会の活動状況を説明した後、「CMED会に求めること」について質疑回答形式で討議（意見交換）した。

安威川ダム現場見学会の質疑回答では、参加者から寄せられた盛立・洪水吐・施工設備に関する質問について、フローシート等の図面を用いながら詳細な説明をしていただいた。

3. 総括

令和3年度の研修会は新型コロナウイルス感染症予防のため、現場見学会は参加人数を制限して、3密対策を行いながら開催をした。また、意見交換会は対面ではなくWeb会議での開催となった。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大が収束して、例年通りの現場見学会や講演会の開催ができることを願っているが、昨年度の経験を踏まえて、Web会議を含めた方法で多くの会員に参加を促し、活発な討議・意見交換を行うことで、CMED会が会員にとってより有意義に機能するよう努力していきたい。



その後ダム下流の減勢工へ移動して、減勢工側壁部分のプレキャスト施工について説明を受けた。プレキャストを使用することによる工期短縮、大型プレキャストを設置する際の精度確保、止水板の設置や縦・横締材のグラウト注入等、肥後副所長から興味深い話を聞くことができた。